

「焼津市環境基本計画（後期計画）案」に関する市民意見公募
（パブリックコメント）に寄せられた意見の内容及び市の考え方

No.	意見要約	市の考え方
1	<p>昔は海や川、田んぼがもう少し身近に感じていたが、どこも土地区画整理できれいに直線化され、焼津らしさ、自然の景色が失われている。昔の姿に戻すのは防災上、経済上難しいが、可能なところから自然性が高く安全性も高い場所を復元すると同時に残る自然が都市計画などで失われないようにしていきたい。また、自然を活用したエコツーリズムなどの体験ができる機会を増やしていきたい。</p> <p>焼津市の環境を良くすることは、自然の景色、焼津らしい景色が生まれ、こころのゆとりや観光面でもメリットが生じ、焼津市民の生活向上につながる。</p> <p>大崩海岸、小浜海岸、浜当目、瀬戸川、高草山など、焼津の誇る自然や、今はなき昔の自然（乙女が浜、住宅街の前はヨシ原だったなど）についてコラムにでも紹介するコーナーを設けてもらおうと、より自然の成り立ちの理解が深まると思う。</p>	<p>昔ながらの自然や、現在の自然を将来に残すことは、非常に重要なことと考えており、今後も、第2次焼津市環境基本計画の取り組み内容を、市民のみなさんに周知し、市内の自然環境の保全に努めていきます。</p> <p>また、第2次焼津市環境基本計画の第1章のコラムで、市民意識調査による「将来に残したい市内の環境」と、環境市民会議の「将来に残したい環境の宝物レポート」を、第2章でも市内の貴重な動植物や、海・山・川とふれあえる場所を掲載しています。その他にも、市民の皆さんが自然とふれあう機会として、自然観察教室や、公民館では自然体験講座を開催するなど、自然に親しむ取り組みも進めていきたいと考えています。</p>
2	<p>環境基本計画に数値目標が掲げられていることは、具体性がある素晴らしいと思う。ただし、まだ数値目標を掲げている指標が少ないので、もう少し指標を増やし、例えば自然護岸を●年までに●km、浜当目や小浜海岸でエコツーリズム件数を●件など、具体性を高めれば、市民も取り組みやすくなると思う。</p>	<p>現在、5つの環境目標に対し、23の数値目標を掲げて取り組みを推進しています。今回は環境基本計画の中間見直しなので、環境施策や数値目標の大幅な改廃は行わなかったため、今後5年間は現在の数値目標で取り組みを推進していきます。しかし、第3次焼津市環境基本計画策定時には、社会情勢等に合わせ、新たな環境施策や数値目標を検討したいと考えています。</p>